

ダンスプロダクション「全国公募・新作」

作・演出家・振付家が、作品に必要な構成メンバー(美術・音楽・映像など)を編成し作品制作を行います。
[A-①]1グループ5名まで、30分程度のダンス作品。[A-②]1グループ7名まで、45分程度のダンス作品。

DISCO

岩淵貞太(東京) [A-①]

仙台・福岡・東京・京都



photo: Hiroto HOSOKAWA



多田淳之介 西村昌之



西村昌之

音楽、ダンサー、観客の間を巡る駆け引き。三者の間で起きる空感。音楽はダンサーと観客を導く誘惑、観客はダンサーに誘われ視線を送り、ダンサーは観客を自分の世界に誘う。三者それぞれの「誘えること」と「誘られること」が選ばれる「DISCO」。

振付・出演 || 岩淵貞太

選曲 || 多田淳之介(東京スロック)

映像 || 細川浩伸

振付アシスタント || 瀧井直之

衣装 || 小暮史人(Design Complicity)

岩淵貞太 Teita IWABUCHI

「身体の構造」や「空間や音楽と身体の相互作用」に着目した振付作品を発表する。大谷龍生や瀧沼祐太など音楽家と共に身体と音楽の関係性をめぐる実験作を継続的に発表。美術観や野外公演など劇場外でも空間の特性を活かしたパフォーマンスも発表している。

左京区民族舞踊

山下 残(京都) [A-①]

札幌・東京・京都



山手 陽



山手 陽

左京区というのは学生や自営業の人も多く住み人種も多様である。歴史的な道跡や神社仏閣、スピリチュアルスポットも多い。たまに鹿の親子や鴨川に下りてくる。ダンスカンパニーが日常と神話に囲まれた場所の中に立ち現れる道程を描く。

振付・演出 || 山下 残

音楽 || 田島 隆

ダンス || 菊池 航(渾水)/瀬戸沙門/山下 残

山下 残 Zan YAMASHITA

1970年大阪生まれ。19歳の頃モダンダンスを習いながら路上で即興ダンスを始める。振付家として関西を拠点に多くの舞台作品を手掛け、国内外で活動する。左京区アートエシアンアンジェンアートスペース。

THE RELIGION OF BIRDS

黒田育世(東京) [A-②]

仙台・東京・京都



photo: Daisha MERA



伊藤千枝



大江麻実子

作品タイトル通りの本の中で、鳥の鳴き声を伴って音楽に体重がのしかかっている様。二羽の鳥だけ信仰からほぐれ結束が語られない様を描かれています。このことが私に強く突き刺さりました。踊りの作品にしたいと思いました。

演出・振付 || 黒田育世

出演 || 伊佐千明 / 大江麻実子 / 野村琴音

歌岡由衣子 / 矢嶋久美子 / 黒田育世

音楽 || 松本じろ

黒田育世 Ikuro KURODA

バレエを基礎に、身体を精進まで遣いつめる過激でダイナミックな振付は躍りが持つ本来の衝動と結びつき、ジャンルを超えて支持されている。カンパニーでの活動に加え、金魚 種集いのNoism05、鈴屋 水、笠井 敬、野田秀樹など様々なアーティストとのコラボレーションも多い。

リージョナルダンス「開催地からの依頼・新作」

札幌・仙台・福岡の各共催者が希望する振付家・演出家に依頼し、地元で暮った出演者と新作を制作、当地で上演します。

あと大体いんだけど、少しだけ心地の良くないダンス。

伊藤千枝(東京)

札幌



photo: Yuka KATAOKA



伊藤千枝



リンノスケ

タイトルはそのまますのテーマ。「少しだけ」の塩梅がポイントだと思う。「良くない」とはどんな感覚なんだろうと、考えるだけでワクワクしてくる。観客、スタッフ、ダンサー、みんなを巻き込んでこの作品を誕生させ、育てたい。お力添えをお願いしたい。

演出・構成・振付 || 伊藤千枝

衣装 || 早川すみれ

出演 || 柴田宗子 / 堀内あゆみ / リンノスケ

伊藤千枝 Chie ITO

大学在学中にダンスカンパニー「おひキノコ舞団」を結成。以降全作品の振付、演出を担当し、国内外で作品を発表。また振付家としてCOM'PMVなどを手がけることも多い。現在は[beダンススペース]「すず(すず)」にコンテンポラリー出演中。桜美林大学非常勤講師。

黒鷄—kokkei—

北村成美(滋賀)

仙台



photo: Ai HIRANO



室 和哉



川畑えみり

黒鷄。こっけい。黒いにわり、いつも変わらそうそこに在る道なり。日々のいとなみ、それがどれだけ舞いこむか。すぐに忘れてしまえるから平穩。直面すると動揺。黒い鶏が舞んで来るのはどっちかな。

振付・演出 || 北村成美

出演 || 室 和哉 / 堀島未来 / 小野詩織 / 川畑えみり / 渋谷裕子

北村成美 Shigemi KITAMURA

なにかのコロナがワクチン「しげや」。生きる喜びと痛みを問うるたましいダンスひびき立つコンテンポダンスを追求するあまり、あらゆる世代層が興味をもち人々の中に飛び込み、数多くの公演・ワークショップ・大型イベント・ダンス作品に取り組み、

白い昼の夢 ~White Day Dream

ゆみうみうまれ(メルボルン)

福岡



photo: Gregory LORENZETTI



室 和哉



武石夢音

夢とは何? 記憶とは? いま私たちの目の前で起きていることは、本当にある現実なのか、それとも夢うつつの自覚夢をみているだけなのか? 日常生活に見え隠れする風景を採集し、「REAL 現実」と「SUREAL 超現実」を行き来する。不思議をおどり、おどれ、おどろかし。

構成・演出・振付 || ゆみうみうまれ

舞台美術 || 武内貴子

オプジェ || 渡邊瑞晴

出演 || 安藤美由紀 / 小山田結子 / 柴原あゆみ / 高橋 創 / 武石夢音 / 中山裕留 / 堀島由美

ゆみうみうまれ Yumi UMIUMARE

メルボルン在住。シロツクとしがクワする[DasSHOKU舞踏キャバレー]主宰。幅広いダンス・パフォーマンスを用いた独創的な作品制作を世界各地で展開。近年はアポロジニョーゴムニティ、コンテンポラリーダンスにも時折注視。民謡系コンテンポラリーダンスユニット「みんようス」を、世帯を超えて結成。北海道の過去現在未来を駆け回りて観覧している。

地元作品「開催地公募・新作/旧作」

各開催地の主催者が、地元の振付家・演出家を発掘・サポートするために、公募・依頼から選出した作品を上演します。

KAMUIRU

鈴木明倫

札幌



作・振付・出演 || 鈴木明倫

鈴木明倫 Akino SUZUKI

岩見沢教育大学芸術学部卒業。10歳より様々なジャンルの踊りを学び、北海道の舞台で育った感性を舞に轉換する。ダンス公演はもちろんのち、ミュージカル・演劇、執筆性、テレビ、CMなど多くの舞台に立つ。近年では韓国や香港のフェスティバルで作品を発表するなど札幌を拠点に加え、海外でも活躍している。

北海民謡物語

松崎 修

札幌



演出・振付 || 松崎 修(みんようス)

三味線・唄 || 佐藤裕子

松崎 修 Shu MATSUMI

音楽関係者、高校卒業後、札幌に移住し演劇をはじめ、物にとわれない実験的な作風が特徴。札幌を中心に活動し、ストーリー・コンテンポラリーダンスにも時折注視。民謡系コンテンポラリーダンスユニット「みんようス」を、世帯を超えて結成。北海道の過去現在未来を駆け回りて観覧している。

再演作品

2013年度「踊2」VOL.4 アプログラム

ZERO ONE

余越保子(京都/N.Y.)

福岡



photo: Maria JIN



山手 陽



山手 陽

その素材である身体から生み出される「ダンス」は、生まれた瞬間に消えていってしまうという宿命を持っている。「ダンス」は見る者の前でZERO(何もない)からONE(何かが生れる)の間の時空を行き来する。その時空を視覚化し、提示する「ZERO ONE」は、つまりダンスそのものである。

振付・演出・映像 || 余越保子

出演 || 福岡まな実 / 福岡さき実

映像出演 || 首くくり特撮 / 黒沢美香 / 川村洋子

映像 Hangman Takuzo(余越保子監督作品より)

衣装 || 岩崎昌子

テクニカルディレクター || 栗津一郎

制作 || 川崎陽子

余越保子 Yasuko YOKOSHI

京都在住。1966年NYでNYを拠点に活動。2013年に日本で初めて制作した「ZERO ONE」LUCINI劇場に於て(川村(かんむり)より)「鳥の演劇祭」にて翌年上演。2015年10月にNYのDancepace Projectにて自作の英語バージョンを発表。ニューヨークタイムズ紙の批評家による2015年ダンスベストナントに選ばれる。